▮評価結果

■ | 使用評価ソフト: CASBEE-BD NC 2021SDGs(v2.3.5



- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction、建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される





欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要							
建物名称	三光電機株式会社工場移転工事	BEE	0.9	BEEランク	B-	**	

2. 重点項目への取組み度 重点項目	得点*/满点		取組み度	
ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.6	/5	<u> </u>	4
″災害に強いしずおか″の形成 (Disaster)	2.8	/5	Mal#35 €	1
"しずおかユニパーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.3	/5	M.√	1
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.7	/5	M.√	1
	表示	評価	凡例 よい ふつう がんばろう 4 3 3 点以上 点未満	*

■ 主列環境(数地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑤敷地内温熱環境の向上)	します。(人	コア1.0=1点、スコア5.0=5点)	点以上	& ®	点以上		- 6	a		点未満
本語の	3 重点項目	についての環境配慮概要								
本語の								内	訳対	応項目
■変内環境対策 (① 変温制御/2 屋 分策 (3 グレア対策 (4 部品・簡材の新用年数)	各項目について	「配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述して	ください。							
①恵システムSC:028、U=273WVm2KV 程度、外營をの能:U=0.46WVm2KV	"ふじのくに:	地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Wa	arming)				得点			3.6
32 321 32 32 32 32 32 32 3				付用年数)						
□ 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		(1)窓ンステムSC:0.28、U=2./3(W/m2K) 程度、外壁そ(の他:U=0.46(W/m2K)		Q-1	3				
■ 電外環境(敷地内)対策 (5生物環境の保全と創出/6敷地内温熱環境の向上) 特になし。 第一次表現環境(敷地内)対策 (5生物環境の保全と創出/6敷地内温熱環境の向上) 特になし。 第一次表現環境(敷地内)対策 (5生物環境の保全と創出/6敷地内温熱環境の向上) 特になし。 第一次表現環境(敷地内)対策 (5生物環境の保全と創出/6敷地内温熱環境の向上) (2-3 1 3 3 32 6 数地内温熱環境の自由) (2-3 1 4 5 3 3 32 6 数地内温熱環境の自由) (2-3 1 4 5 3 3 32 6 3 3 4 3 5 3 3 3 6 3 3 3 5 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3					Q-2	2				
■空外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と割出/⑥敷地内温熱環境の向上) 情になし。 2-3 1 ⑤ 生態機構の保全と割出/⑥敷地内温熱環境の向上) 情になし。 3 3 32 ⑥ 敷地内温熱環境の発生を削してなし。 3 1 ⑤ 生態機構の発生を削り上の 3 3 32 ⑥ 敷地内温熱環境の発生を削してなし。 3 1 ⑥ 敷地内温熱環境の発生を削してなし。 3 3 32 ⑥ 敷地内温熱環境の発生を削してなし。 3 1 0 9 放策人ステムの裏の事化・思効率的連用									0	外壁仕上げ材の補修必要間隔
■室外環境(敷地内)対策(⑤生物環境の保金と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)特になし。 ■面変外環境(敷地内)対策(⑤生物環境の保金と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)特になし。 ■面変外環境(敷地内)対策(⑤生物環境の保金と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)特になし。 ■面ズルギー対策(⑦速物外皮の高質育卵制で自然エネルギー料用/◎設置システムの高効率化/®効率的運用) ②										
■室外環境(数地内)対策 (5)生物環境の保全と創出/6)数地内温熱環境の向上) は 3 3.2 (5)数数内温数環境の向上									0	空調・給排水配管の更新必要間
特になし。 1								2.2.6		主要設備機器の更新必要間隔
■エネルギー対策(⑦度物外皮の熱負長病物制・面自居エネルギー利用/面設費システムの高効率化/物効率的適用)			と創出/⑥敷地内温熱環境の	同上)	Q-3	1			(5)	生物環境の保全と創出
プルター・ファットの表現のでは、		1910-600				3	3.2		6	敷地内温熱環境の向上
調査原・マテリアル対策 (①水質原保理・応声報生性資源の使用量削減、②汚染物質含有材料の使用回避 (地元 2 1 11 11 12 12.1 10	-	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルキ	一利用/⑨設備システムの高効率化	(⑩効率的運用)	LR-1	1			7	建物外皮の熱負荷抑制
■東京・マナアル対策(①本資源保護・②本再生性資源の使用量削減・③汚染物質含有材料の使用回型)(R-2 1 1.1 ① 第本		⑦BPIm=0.63。							_	
■ 資源・マテリアル対策 (①水資源保護/①非再生性資源の使用量削減・②汚染物質含有材料の使用回避) (①が大コなどに加えて 飲水型便器も採用している。							4.1		_	
■資産デザリアル対策 (印水資産保護の非用単位資産の使用量削減・(項売金物質含有材料の使用回避) (以民ビニル床タイル、断熱材・ (収成 に) は (収成 に) な (収成 に) は (収成 に) な (収成 に) は (収成 に) な (収成 に) は (収成 に) な (収成 に) な (収成 に) は (収成 に) な (収成 に) は (収入 に)	-					4			_	
(①床ビール床タイル、断熱材。			D使用量削減/⑬汚染物質含有材料	4の使用回避)	LR-2	1			=	節水
② 2 2.1 ① けお使用量の削減							1.2			
2.3 (1) 競技技術といいますがクリークリークリークリークリークリークリークリークリークリークリークリークリーク		⑫LGSとOAフロアを使用している。				2	2.1	1.2.2	_	
2.4 (2.5 (2.5 (2.5 (2.5 (2.5 (2.5 (2.5 (2.5		③ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。							_	既存建築躯体等の継続使用
2.5 ① 持続可能な森林から産出さい 2.6 ② 部材の再料用可能性向上へ 2.6 ② 部材の再料用可能性向上へ 3 3.1 ③ 清火期 3.2 3.2 1 ③ 所数材									_	躯体材料におけるリサイクル材の
2.6 ② ② 参析の再用用用能性向上へ 3 3.1 ③ 有害物質を含まない材料の 月火利									_	持続可能な森林から産出されたオ
■数地外環境対策 (低地球温暖化への配慮/低温熱環境悪化の改善)										部材の再利用可能性向上への取得
■敷地外環境対策(低)地球温暖化への配慮/⑤温熱環境悪化の改善)						3		0.0.1	_	有害物質を含まない材料の使用
■数地外環境対策(後地球温暖化への配慮/⑤温熱環境悪化の改善)							3.2			
(頂ライフサイクルCO2排出率が78%。 (関ライフサイクルCO2排出率が78%。 (関ライフサイクルCO2排出率が78%。 (関ライフサイクルCO2排出率が78%。 (関ライフサイクルでの形成(Disaster) (関ライフサインの形成(Disaster) (関ライフサインでの形成(Disaster) (関ラインでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で								3.2.3		-1-00
*災害に強いしずおか"の形成(Disaster) ■サービス性能対策 (協耐震・免震/①信頼性) 特になし。 特になし。 *しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design) ■サービス性能対策 (協機能性・使いやすさ/③心理性・快適性/②空間のゆとり) ②階高:39m以上。 ②のは≦ 壁長さ比率 <0.3 ■室外環境(敷地内)対策 (②地域性・アメニティへの配慮) 特になし。 *しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design) ■空外環境(敷地内)対策 (②地域性・アメニティへの配慮) 特になし。 *後に及び自然景観"の保全・回復(Nature) ■室外環境(敷地内)対策 (③地域性・アメニティへの配慮) 特になし。 *後に及び自然景観"の保全・回復(Nature) ■変外環境(敷地内)対策 (③地域性・アメニティへの配慮) 特になし。 *しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design) □室外環境(敷地内)対策 (②地域性・アメニティへの配慮) 特になし。 *後に及び自然景観"の保全・回復(Nature) ■変外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/②まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。 *しずおかユニバーサルデザインが回過をは、1.1.1 1.1.3 (多) 2.2 (多) 2.3 (多) 2.4.5 (別) 2.4.5 (温熱環境患化の改善)		LR-3	1			(14)	地球温暖化への配慮
■サービス性能対策 (修耐震・免震/①信頼性) 特になし。 「特になし。 「はない。 「しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design) 「しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design) 「世界では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般		() 1) 1) 1 O O O O O O O O O O O O O O				2	2.2		15	温熱環境悪化の改善
■サービス性能対策 (修耐震・免震/①信頼性) 特になし。 Q-2 2 2.1 2.1.1 (6) 対象機能性を対象になるとのでは、対象を関する。	"巛宝に路に	 ポセか"の形成 (Disaster)					但占			2.0
特になし。	火日に返り				0-2	2		211	(16)	
2.4 2.4.1 ① 空調・換気設備 お排水・衛生設備 2.4.2 ① 総排水・衛生設備 2.4.3 ① 電気機備 2.4.3 ① 電気機備 2.4.3 ② 電気機備 2.4.4 ② で で で で で で で で で で で で で で で で で で	(100				" -	-	۷.,		_	
2.4.3 ① 電気設備 2.4.4 ① 機械・配管支持方法 2.4.5 ① 通信・情報設備 2.4.4 ① 機械・配管支持方法 2.4.5 ② 通信・情報設備 2.3 ② 3.1.1 ② 通常高の即以上。 ② 3.1.2 ② 空間のがより自立 2.3 ② 3.1.1 ② ② 空間の形状・自由さ 2.3 ② 3.1.2 ② 空間の形状・自由さ 2.3 ② 3.1.2 ② 空間の形状・自由さ 3.1.2 ② 2.5 ② 2.5 ② まちなみ景観・の保全と創出ではした。 3.1.2 ② 3.3 ② 3.1 ② 3.3 ③ 3.3 ④ 3.3 ③ 3.3 ④ 3		177-5-50					2.4	2.4.1	17)	空調·換気設備
2.4.4 ① 2.4.5 ① 機械・配管支持方法 2.4.5 ② ② 機械・配管支持方法 3.4.5 ② 3.4.5 ② ② 3.4.5 ② ② 3.4.5 ② ② 3.4.5 ② ② 2.5 ② 3.4.5 ② ② 3.4.5 ② ② 2.5 ② 3.4.5 ③ 3.4.5 ④ 3.4.5 ④ 3.4.5 ④ 3.4.5 ④ 3.4.5 ④ 3.4.5 ④ 3.4.5 ④ 3.4.5 ⑥ 3.4.5	X								-	
*** *** ** ** ** ** ** ** **	~~~									
■サービス性能対策 (⑩機能性・使いやすさ/⑪心理性・快適性/⑩空間のゆとり) Q-2 1 1.1 1.13 億億 本にサルデザイン計画 階高のPとり 3 3.1.1 位 3 3.1.1									-	
②階高:3.9m以上。 ②の15 [壁長さ比率] < 0.3 ■室外環境(敷地内)対策 (②)地域性・アメニティへの配慮) 特になし。 「製化及び自然景観"の保全・回復(Nature) ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/②まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。 「製作及び自然景観"の保全・回復(Nature) ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/②まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。 ②の3 3 3.1 ②) 地域性への配慮、快適性の ・ はないのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	'しずおかユ			1.015					0.5	
②0.1 ≦ [壁長さ比率] < 0.3 3.1.2 ② 空間の形状・自由さ 地域性への配慮、快適性の特になし。	60		心埋性・快適性/20空間のは	とり)	Q-2					
■室外環境(敷地内)対策 (②地域性・アメニティへの配慮)						J	3.1		-	
*機化及び自然景観"の保全・回復(Nature) 得点 2.7 ■室外環境(敷地内)対策(⑤生物環境の保全と創出/砂まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) は特になし。 9 生物環境の保全と創出 まちなみ景観への配慮 3 3.2 6 敷地内温熱環境の向上 ■敷地外環境対策(⑫持続可能な森林から産出された木材/⑤温熱環境悪化の改善) LR-2 2 2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出され			(への配慮)		Q-3	3	3.1		21)	地域性への配慮、快適性の向上
■室外環境(敷地内)対策(⑤生物環境の保全と創出/位まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) Q-3 1 5 生物環境の保全と創出 特になし。 2 位 まちなみ景観への配慮 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ■敷地外環境対策(位)持続可能な森林から産出された木材/⑤温熱環境悪化の改善) LR-2 2 2.5 位 持続可能な森林から産出され		特になし。								
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/砂まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) Q-3 1 (5) 生物環境の保全と創出 特になし。 2 切 まちなみ景観への配慮 3 3.2 (6) 敷地内温熱環境の向上 ■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑤温熱環境悪化の改善) LR-2 2 2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出され	'緑化及び自	」 自然景観"の保全・回復(Nature)					得点			2.7
■ 敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) LR-2 2 2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出され		■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/②ま	ちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱	快環境の向上)	Q-3	1	1-2-200		(5)	
■敷地外環境対策 (⑩持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) LR-2 2 2.5 ⑪ 持続可能な森林から産出され		特になし。				2			22	
						•				#
			された木材/⑮温熱環境悪	化の改善)		_			-	持続可能な森林から産出されたオ
1710年の 2 2.2 (3) 温熱環境悪化の収音		特になし。			LR-3	2	2.2		(15)	温熱環境悪化の改善